

ユンヌフトゥバを日常化するために

与論高等学校 2年

1. 研究方法

ユンヌフトゥバ→与論で使われている方言

・与論の方言は琉球語が使われており、現在では「ユンヌフトゥバ」と呼ばれている

・与論の方言は使う人が減ってきているため**危機的**にある

〈方言を残していくための取り組み〉

- ・方言の本を作り、広める
- ・月1で与論小で授業を行う
- ・一般の人を中心とした教室を開く
- ・Instagramで方言の紹介
- ・ラジオ体操第一 ユンヌフトゥバver. など

2. 研究の目的・目標

〈目的〉

- 方言を継承していきたい

〈目標〉

方言を継承していきたい

↓
与論高校の体育祭でラジオ体操第二 ユンヌフトゥバver.を作成し、使用する

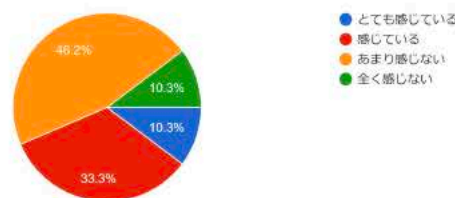
↓
身近に感じてもらう・広める

3. 研究方法

- ・ラジオ体操第一 ユンヌフトゥバver.のインタビュー(原田さん)
- ・ラジオ体操第一 ユンヌフトゥバver.の翻訳
- ・アンケート(1・2年生を対象)
- ・ラジオ体操第二 ユンヌフトゥバver.を作成
- ・与論高校の体育祭で実際に使用し、広める

4. アンケート結果

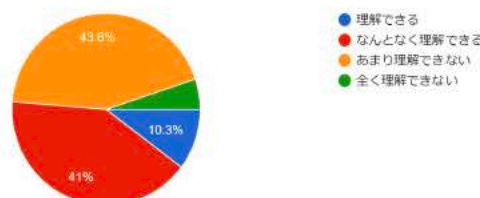
①ユンヌフトゥバを身近に感じていますか？
39件の回答



②①の質問で「とても感じてる」「感じている」と回答した人はどんなときにユンヌフトゥバを身近に感じていますか？

- ・親や祖父が話しているとき
- ・親戚や近所の方と話すとき
- ・友達が方言を使ったとき
- ・バイトなどで店員やお客さんが話しているとき

③ラジオ体操第一ユンヌフトゥバver.や方言で流れる夕方の放送の内容は理解できますか？
39件の回答



5. 成果・考察

- ラジオ体操第二 作成途中
- 体育祭だけでは方言に触れる機会が少ないため他の行事でも使用し、完成したCDを配る
- 教育の中で方言の授業を取り入れる
- 方言に親しむことができるイベントを取り入れる

6. 今後の展望

- 実際に使用できるようにするためにラジオ体操第二 ユンヌフトゥバver.の作成を完成させる
 - ・歌詞づくり→リズムに合わせる
 - ・楽譜を準備し、ピアノが弾ける人を探す
 - ・歌う人を探す
- 方言に関するイベントが現在行われているか
- 小学校で行われている方言の授業内容を知る